



ニュースリリース

平成30年3月2日
国立大学法人千葉大学 学術研究推進機構 産業連携研究推進ステーション

国立大学法人千葉大学：富士ゼロックス株式会社 「包括連携共同研究推進等に関する協定」の締結について

このたび、国立大学法人 千葉大学（学長：徳久 剛史）（以下、千葉大学）は、富士ゼロックス株式会社（代表取締役社長：栗原 博）（以下、富士ゼロックス）と、組織として連携して相互の研究活動を飛躍的に進展させるための協定（「包括連携共同研究推進等に関する協定」）を締結しました。

千葉大学と富士ゼロックスが「包括連携研究協定」を締結

- 千葉大学が強みを持つ画像工学・材料工学等を中心に、総合大学としての幅広い「研究力」と、富士ゼロックスの画像形成材料・機能部材等の「技術開発力」を有機的に連携させる。
- 千葉大学の持つ科学素材、科学シーズ、あるいは富士ゼロックスが持つ商品の要素技術を起点として、大学の包括的な幅広い研究領域視点での協議を通じ、これまでの事業領域に留まらない商品の開発を目指す。
- まずは研究テーマ創出自体を成果物とする「研究テーマ創出活動」を推進し、必要性が明確になった共同研究を推し進め、本格共同研究に繋げる一連の連携で新産業創出に向けた相互の協力体制を強化する。

【内容】

千葉大学は、総合大学として幅広い研究領域を持ち、なかでも画像工学・材料工学等の分野の「研究力」で強みを有しており、一方で富士ゼロックスも、画像形成材料・機能部材等の分野において世界トップクラスの「技術開発力」を有しております。

これらを有機的に連携させることにより、既に成熟した市場を変革するような社会的インパクトの高いイノベーション創出や、現存技術の新分野への応用転換による新産業の創出を目指して、基礎研究から実用化に至るまで千葉大学と富士ゼロックスが強力なパートナーシップを構築するための「包括連携研究協定」を締結します。

本協定による包括連携活動の下、個別に実施を予定している従来型の共同研究とは別に、新たな研究テーマ創出自体を成果物とする「研究テーマ創出活動」を一つの研究テーマとして捉え、新規産業に繋がるような研究テーマ創出を目指します。

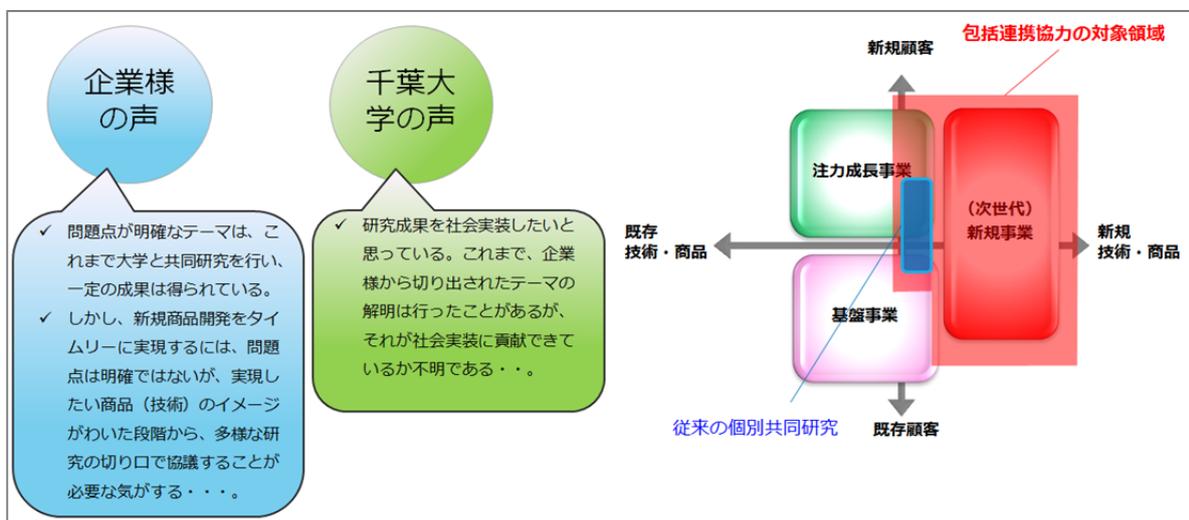
そして、上記活動から創出される個別の共同研究を含め、それら複数の共同研究を両者が協力して組織的にマネジメントすることにより、研究活動や研究成果創出に資する実効的な支援体制を構築し、新技術の社会実装に向けた研究・技術開発力の強化を図ります。

【背景】

「第5期科学技術基本計画」や「国立大学経営力戦略」を始めとする国の政策は、各大学が産学連携を加速するための改革に積極的に取り組むことを求めており、また、経団連はそれを受けて産業界も投資や知・人材の交流に積極的に取り組むことを求めています。

しかし、従来の産学連携による共同研究の多くは企業と研究者の個人的関係に基づく研究活動であり、当該技術分野内の深化・発展はあっても、産業界が期待する大学の高い基礎研究力や総合力を広く活用した部局横断的な研究活動に発展することは難しい状況でした。このため、「組織」対「組織」の新しい協力体制の整備が必要とされていました。

今般、相互の協力関係を強化する協定の締結により組織的に連携することで、さらなる飛躍的なシナジー効果が期待できると考えています。



【参考】

千葉大学：富士ゼロックス株式会社「包括連携研究協力等に関する協定」概要
URL：<http://www.chiba-u.ac.jp>

【本プロジェクトの研究代表者】

千葉大学大学院工学研究院 教授 星野 勝義

【本件に関するお問い合わせ先】

千葉大学研究推進部産学連携課 加藤 洋介
Tel：043-290-3605 Fax：043-290-3519
E-mail：beg3605@office.chiba-u.jp